

【テーマ】2040年に向けた高等教育のグランドデザインを学ぶ

【主催】大学経営・情報化戦略分科会

活動報告

日時：2019年8月9日（金）15:00～18:10
場所：富士通株式会社 汐留本社24階 大会議室
出席者：59名

1. 研究内容

2018年11月に中央教育審議会より、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」という答申が出されました。テクノロジーの加速度的進化を前提に高等教育機関の目指すべき姿から、18歳人口の減少を踏まえた規模や配置、質保証や成績評価の厳格化まで広範囲に亘っています。近年、競争的施策を次々に打ち出している文科省の政策立案のベースとなる可能性は高いためこの内容をしっかり理解する事により自学の活動に繋げていくことが求められています。

本分科会では、この答申の内容理解し、大学が進むべき方向と施策との関連について、共有をいたしました。

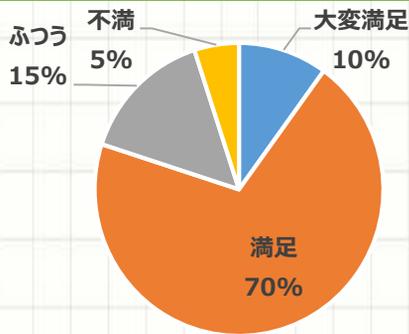
2. スケジュール

15:00～15:10	全体会 ・事務連絡
15:10～16:30	ご講演「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」 文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 高等教育政策室 課長補佐 奥井 雅博 (Okui Masahiro) 氏
16:30～16:45	休憩
16:45～18:00	意見交換
18:00～18:10	閉会挨拶・分科会終了

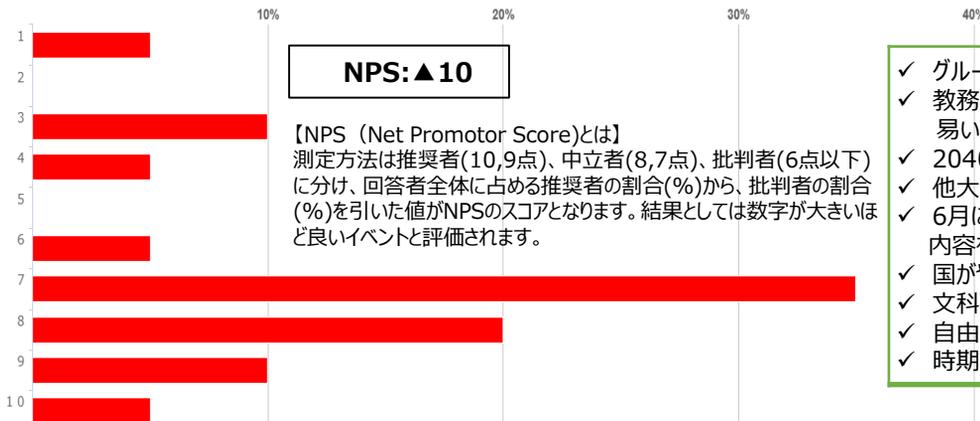


3. アンケート結果について

■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



■ 今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(おすすりしない) ~10(おすすりしたい)



- ✓ グループディスカッション。
- ✓ 教務初任者や若手職員にも分かり易い内容であった為。
- ✓ 2040他大学の考え方を知る事が出来た。
- ✓ 他大学の方と意見交換出来た。
- ✓ 6月に他社が主催するイベントで同様の内容を聞いている為。
- ✓ 国がやりたいことが分かった。
- ✓ 文科省の方向性の再確認。
- ✓ 自由な意見が聞けるため。
- ✓ 時期と概要による。

■ 本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください

- ✓ 各大学の動向が分かり、大変有意義だった。
- ✓ 他大学の方の意見が聞けて良かったです。
- ✓ 各大学の経営戦略につなげること。
- ✓ 他大学の取り組み。

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ AIと大学業務。
- ✓ ICTの力で大学の業務の改革。
- ✓ 5GとAIと大学と世界。

4. 参加校 [15校20名] ・参加企業[4社37名] ・その他[2名] 参加総数[59名]

神田外語大学[1]
常翔学園[1]
関西大学[1]
関東学院大学[1]
共立女子大学[2]

産業能率大学[2]
清泉女子大学[1]
聖学院大学[3]
千葉工業大学[2]
専修大学[1]

中部大学[1]
帝京大学[1]
東洋大学[1]
麗澤大学[1]

横浜国立大学[1]
文部科学省[1]
個人会員[1]

インフィニテック[1]
ウェイズリンクス(株)[1]
ファーストスタープロジェクト[1]
富士電機ITソリューション(株)[3]
富士通(株)[31]

5. 所感

今回のテーマは、これからの大学がどこに進むべきかを考えるきっかけとなる場として、夏季休暇中にも関わらず多くの方にご参加いただきました。基調講演では文科省の方に、公開情報の文面からでは読み取ることのできない話を伺うことができ、また、グループディスカッションでは各参加者の積極的な意見交換が行われ、非常に活気ある分科会となりました。(事務局)